

IR

第49期第2四半期
営業のご報告

2012年4月1日～9月30日





株式会社 あじかん なか たに のぼる
代表取締役社長 中谷 登

株主のみなさまへ

増収増益の決算をご報告申し上げます

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループの第49期第2四半期連結累計期間(2012年4月1日から2012年9月30日まで)の営業の概況および決算等についてご報告申し上げます。

ご高承のとおり、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかながら回復傾向が見られたものの、欧州債務危機に伴う海外経済の減速や円高の定着などにより、依然として先行不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましても消費者の節約志向は依然として強く、同業他社との低価格競争が激しさを増す一方で、高止まりする原油・穀物価格などが企業収益を圧迫する厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは第9次中期経営計画をスタートさせ、変化の激しい時代に対応するため、第一に「ブランド価値の向上」、第二に「継続的な需要創造」、第三に需要創造の一環として中国を中心とした海外へも販売エリアを拡大させた「グローバル化」を目指し、「商品の研究開発と技術開発の強化」、「営業基盤の拡充と市場開拓」、「利益構造の改善」、「全社供給体制の強化と効率化」、「経営効率・経営品質の向上」を重点施策として取り組んでおります。

その結果、営業部門におきましては、西日本エリアを中心に仕入商品の需要減少もありましたが、特に東日本エリアにおいて、コンビニエンスストアやスーパーマーケット、弁当店を中心に厚焼玉子や野菜加工品などの自社製品および自社企画ブランド品の需要が増加しました。

また、2010年12月に新規事業の一環として立ち上げた「ごぼう茶」ならびにその関連製品の売上高につきましても各種イベントや販売活動などにより、当初計画を大きく上回る状況で推移し、売上高全体では、17,512百万円(前年同四半期比2.5%増加)となりました。

一方、利益面におきましては、原油価格や穀物価格の高止まりに起因した副材料・補助材料費の上昇による製造原価の引き上げ要因はありましたが、当社グループの主要原材料である鶏卵の価格が需要と供給の関係から前年同四半期に比べて大幅に低下したことや、省エネ活動などの効果もあり、製造原価率は前年同四半期を大きく下回る結果となりました。

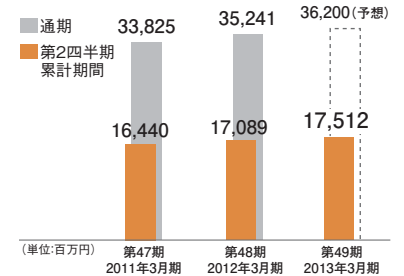
また、玉子焼類やごぼう茶などの自社製品の売上拡大や、想定以上の円高の進行による外貨建て品の仕入原価低減などもあり、営業利益は468百万円(前年同四半期比381.7%増加)、経常利益は412百万円(前年同四半期は経常損失0百万円)、四半期純利益は216百万円(前年同四半期は四半期純損失36百万円)となりました。

■ 通期業績予想

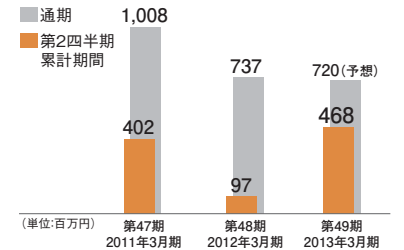
当第2四半期連結累計期間の業績は、主に当社グループの主要原材料である鶏卵の価格が当初見込み以下で推移したこともあり、営業利益段階で当初の予想(2012年5月14日公表)を上回る結果となり、業績予想を上方修正(2012年11月5日公表)しました。

第3四半期以降につきましては、鶏卵の価格が上昇する需要期を迎えることや、穀物価格の高止まりによる派生コストの増加懸念など流動的な要素も多いため、現時点において、2012年5月14日に公表いたしました通期の業績予想は変更しておりません。

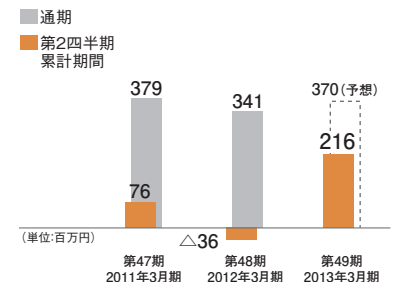
売上高
17,512百万円



営業利益
468百万円



当期(四半期)純利益
216百万円



第2四半期 連結貸借対照表

科 目	前連結 会計年度	当第2四半期 連結会計期間
	2012年3月31日現在	2012年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	9,875	※1 9,622
現金・預金	1,539	1,332
受取手形・売掛金	5,420	5,495
商品・製品	1,867	1,763
仕掛品	7	5
原材料・貯蔵品	741	716
繰延税金資産	135	160
その他	182	163
貸倒引当金	△ 19	△ 15
固定資産	7,549	※2 7,477
有形固定資産	5,835	5,856
建物・構築物	1,641	1,592
機械装置・運搬具	954	1,024
土地	2,957	2,957
リース資産	58	71
その他	223	211
無形固定資産	232	197
リース資産	57	48
ソフトウェア	150	123
その他	24	24
投資その他の資産	1,480	1,422
投資有価証券	550	458
繰延税金資産	84	109
その他	864	875
貸倒引当金	△ 17	△ 20
資産合計	17,425	17,099

※1 流動資産は、前連結会計年度末に比べ253百万円減少し、9,622百万円となりました。主な減少要因は、借入金返済や法人税等の支払などによる現金・預金の減少206百万円や、商品・製品の減少104百万円です。

※2 固定資産は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し7,477百万円となりました。主な減少要因は、減価償却の進行や、投資有価証券の時価評価減です。

科 目	前連結 会計年度	当第2四半期 連結会計期間
	2012年3月31日現在	2012年9月30日現在
(負債の部)		
流動負債	7,397	※3 7,189
支払手形・買掛金	2,627	2,935
短期借入金	2,978	2,494
未払法人税等	218	223
賞与引当金	266	335
役員賞与引当金	26	15
リース債務	79	76
その他	1,200	1,108
固定負債	1,227	※4 1,022
長期借入金	577	388
退職給付引当金	149	133
役員退職慰労引当金	306	319
資産除去債務	43	43
リース債務	151	136
その他	—	1
負債合計	8,624	8,211

(純資産の部)		
株主資本	8,893	9,019
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	6,756	6,882
自己株式	△ 64	△ 64
その他の包括利益累計額	△ 93	△ 131
その他有価証券評価差額金	37	△ 15
為替換算調整勘定	△ 131	△ 115
純資産合計	8,800	8,887
負債及び純資産合計	17,425	17,099

※3 流動負債は、前連結会計年度末に比べ207百万円減少し7,189百万円となりました。主な増減要因は、仕入に伴う支払手形・買掛金の増加307百万円、賞与引当金の増加69百万円、約定返済に伴う短期借入金の減少484百万円です。

※4 固定負債は、前連結会計年度末に比べ205百万円増加し1,022百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少189百万円です。

第2四半期 連結損益計算書

科 目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	2011年4月1日～ 2011年9月30日	2012年4月1日～ 2012年9月30日
売上高	17,089	※5 17,512
売上原価	13,237	13,112
売上総利益	3,851	4,400
販売費及び一般管理費	3,754	3,931
営業利益	97	468
営業外収益	26	49
営業外費用	123	105
経常利益(損失△)	△ 0	412
特別利益	—	0
特別損失	6	7
税金等調整前四半期純利益(損失△)	△ 6	405
法人税等	30	188
四半期純利益(損失△)	△ 36	※6 216

第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	2011年4月1日～ 2011年9月30日	2012年4月1日～ 2012年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	389	※7 899
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 207	※8 △ 285
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 243	※9 △ 822
現金及び現金同等物の増加額	△ 61	△ 206
現金及び現金同等物の期首残高	1,753	1,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,692	1,222

※9 財務活動の結果使用した資金は、822百万円となりました。これは主に、借入金の返済による減少やリース債務の支払い、配当金の支払いなどによるものであります。

※5 西日本エリアを中心に仕入商品の需要減少もありましたが、特に東日本エリアにおいて、コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどを中心に厚焼玉子や野菜加工品などの自社製品、自社で企画・開発し国内外の協力工場で生産している自社企画ブランド品などの需要が増加しました。また、「ごぼう茶」ならびに関連製品の売上高も順調に推移した結果、売上高全体では、前年同四半期を上回る結果となりました。

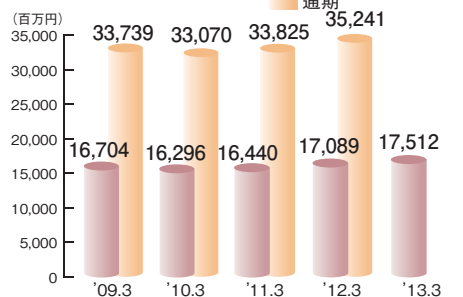
※6 原油・穀物価格の高止まりに起因した副材料・補助材料費の上昇による製造原価の引き上げ要因もありましたが、主要原材料である鶏卵の価格が、需給の関係から前年同四半期に比べ大幅に低下したことや、円高の進行による外貨建て品の仕入原価の低減、ごぼう茶関連製品の売上拡大などにより、前年同四半期を上回る結果となりました。

※7 営業活動の結果得られた資金は、899百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の計上405百万円に加え、減価償却費273百万円や賞与引当金の増加69百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務を合計した運転資金359百万円が主なプラス要因となったためであります。

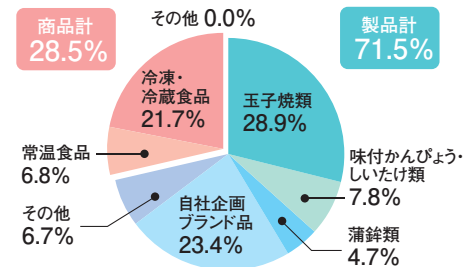
※8 投資活動の結果使用した資金は、285百万円となりました。これは主に、生産設備の増強投資やメンテナンス投資によるものであります。

連結業績の推移

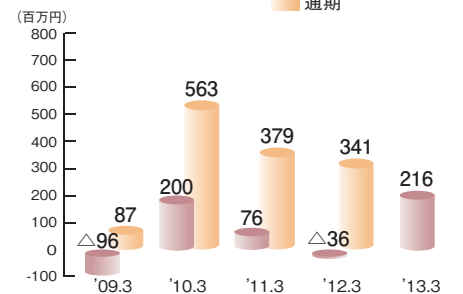
売上高



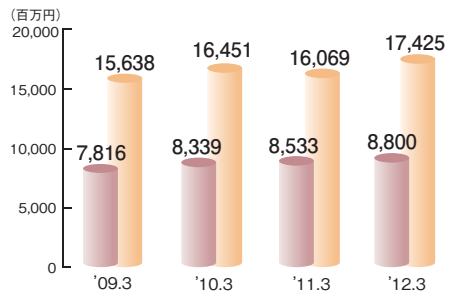
売上構成比（'13年3月期 第2四半期累計期間）



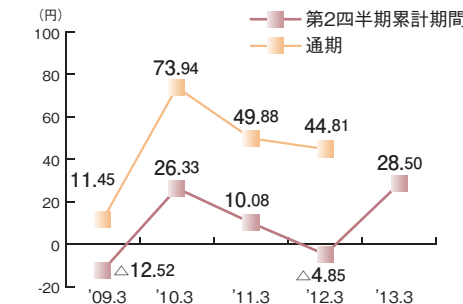
当期（四半期）純利益



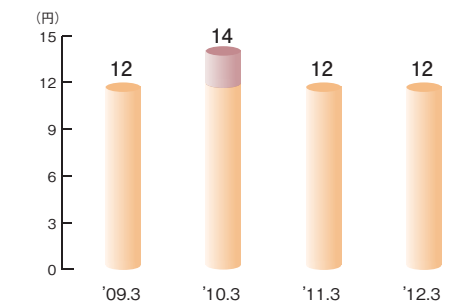
総資産・純資産



1株あたり当期（四半期）純利益



1株あたり配当金



注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単元株式数の変更（引き下げ）に関するお知らせ

当社は、2012年9月3日開催の取締役会において、単元株式数の変更（引き下げ）を決議し、10月1日付で単元株式数を500株から100株に変更いたしましたので、お知らせいたします。

1. 単元株式数の変更の理由

投資家みなさまに、より投資しやすい環境を整えることで、当社株式の流動性の向上および投資家層のさらなる拡大を図るとともに、全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、単元株式数を見直し、売買単位の引き下げを行うものです。

2. 単元株式数の変更の内容

2012年10月1日付で、単元株式数を500株から100株に変更いたしました。

【ご参考】

- ・上記変更に伴い、2012年10月1日付で、(株)東京証券取引所および(株)大阪証券取引所における当社株式の売買単位は、500株から100株に変更されました。
- ・本件に係わる株主さまのお手続き等の必要はございません。

株価・売買高の推移

証券コード：2907



IR Information

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 (定時株主総会) 3月31日
(期末配当) 3月31日
(中間配当) 9月30日(当期中間配当は未実施)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東証2部、大証2部
- 公告の方法 電子公告
(公告掲載URL) <http://www.ahjikan.co.jp>
※やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

【ご注意】

- 1.株主さまの住所変更など各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でも、お取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で、お支払いいたします。

会社概要

- 商 号 株式会社あじかん (AHJIKAN CO.,LTD.)
- 設 立 年 月 日 1965年3月19日 (創業 1962年)
- 主要な事業内容 卵加工製品・野菜加工製品・水産練製品・その他食品の
製造販売および卸売

